

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金については、期末退職給与を検討し、相当する金額を計上することとしている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	5,200,000	600,000	0	5,800,000
事業運営積立資産	9,500,000	600,000	0	10,100,000
周年記念事業資金	280,000	140,000	0	420,000
合計	14,980,000	1,340,000	0	16,320,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対する額)
退職給付引当資産	5,800,000	(0)	(0)	(5,800,000)
事業運営積立資産	10,100,000	(0)	(10,100,000)	(0)
周年記念事業資金	420,000	(0)	(420,000)	(0)
合計	16,320,000	(0)	(10,520,000)	(5,800,000)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。